

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年11月8日（火）16時00分～17時20分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、
小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員
文部科学省
原子力課
横井原子力研究開発調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 本部長 他4名
高速増殖炉もんじゅ 所長代理 他6名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 性能維持施設の見直しについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、原子力規制庁の加藤でございます。それでは、
0:00:19	えっと原子力のジョウでございます。それでは、
0:00:26	それで、まず初めに、こちらの資料あってですね、今日議論させていただきたいなと思ってるところですけども、
0:00:34	スケジュールの話もあると思っております。で、今後の機構側の方で考えてるスケジュールでございますけれども、
0:00:43	まずはこの性能維持施設の見直しについてですね、バーボンできますし見直しをする
0:01:14	わかりやすいかなと思って、江原近藤。
0:01:18	まずは、この中でですね。
0:01:21	工場の方で考えてる。
0:01:25	本日ご指摘いただければというふうに思ってる。
0:01:28	で、スケジュールにつきましては、
0:01:32	3ぐらい。
0:01:36	後、
0:01:38	ご説明できる。
0:01:46	で、よろしくお願い。
0:01:48	それでは伴資料の中身についてご説明をさせていただきます
0:01:52	ポイントだけ、そういう意味でご説明したいと思います。まず1ページ目の方に説明要旨というふうにさせていただいておりますけれども、
0:02:00	大きく三つの方向性で、性能維持施設の見直しについてまとめて参りたいというふうに考えており
0:02:08	一つ目が性能維持施設、廃止措置段階全体の性能実績の考え。
0:02:13	そういうところ。
0:02:15	その考え方を踏まえまして2ポツと、こういうところで第二段階の前は、前の施設がどうなるのかというところをお示しするために、まず初めにですね、第二段階前半のプラント状態における、
0:02:28	安全機能の要求が何があるのかと、こういうのを適とさせていただきます
0:02:33	その結果として衛星の移設が何かと、こういうのが出てくるということになりますので、その次の矢羽根にありますけれども、その結果として第二段階の移行に伴って、運用を提出する施設が何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:46	というご説明をさせていただき、加えて三つ目の矢羽根になりますけれども、第二段階前半におけるフランスの運用の合理化というものを図って参りたいというふうに考えておりますので、このブランド事業の合理化というところまでですね、
0:03:00	まとめたいというふうに考えて、
0:03:03	最後3国になりますけれども、この第二段階の後半以降に向けて前の方針というところをご説明したいというふうに考えて、
0:03:11	それでは、中身についてざっとかいつまんで、
0:03:15	2ページ目が、1ポツの廃措置段階という考え方で、こちらの件も共通の話になる。
0:03:23	これについては、これまでもですね、結構御説明されてるものかなと思いますので、簡単にポイントだけですね紹介させていただきますけれども、
0:03:33	配布措置の左側の方ですねプラントの安全機能要求、設備上の課題、廃措置作業との関係、この辺りをですねまずは整理をし、
0:03:45	その整理した結果を踏まえて真ん中の設備の維持、運用の再評価と、こういうのを行って、最後にですね、設備機能が不要だと、こういうものにつきましては設備の維持期間の終了というのを行いますし、
0:04:00	維持が必要だ、こういう機能維持が必要だというものにつきましては、設備運用計画というふうに取りまとめをさせていただきまして、右下にあります通り、変更なしでもするのか、運用を維持方法を変更するのか。
0:04:16	場合によっては設備の更新、移設、改造を代替設備の移行、この辺りをですねまとめていくということになるかなというふうに思っております。
0:04:26	それで4ページ目の方につきましても、それをですね、改めて、基本的な考え方と、こういうふうにまとめたものでございます。
0:04:35	左上にあります通り、概念としては各段階ごとにですねM i l l s t o n eがあるというふうに考えております。このマイルストーンに応じてその下のところにありますけれども、
0:04:47	まずは性能維持施設の管理として安全機能要求を待ってキッツ、
0:04:53	抽出した安全の要求について重要な安全機能を維持すべき性能が何か、
0:05:00	その他の安全確保上必要な機能を維持すべきものが何かというのを抽出をして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:06	これで安全機能、こういうものの整理をまずします。その結果を踏まえて性能維持施設が何かというのを抽出していくということになりますけれども、
0:05:15	右上のフローの方に行きますけれどもそういう意味で現在ですね一番左上の四角で黒くなってますけれども、性能維持施設すべてですね重要な安全機能の維持の1施設というふうになっておりますけれどもこれをですね、
0:05:29	重要な安全機能を担う施設、ブルーの部分と、その他の安全確保上必要な圧雪グリーンの部分に変えていくと。
0:05:38	それぞれの機能になっていくということになりますけれども、右側の方にあります通り、
0:05:44	プラント状態が変わっていけば、重要な安全機能を直接担う施設については、時間の経過、Millstoneの変化に応じて、このグリーンの方に変わっていくのもあるかなというふうに考えていて、
0:05:56	少しわかりにくいですが、
0:05:59	まずはこのブルーの部分の施設が何か、それについては原子力災害の防止の安全機能というふうに、を担うものという位置付け。
0:06:09	グリーンの方、
0:06:13	こういうふうな実験で、予算が変われば古びに代わるものもあるっていうのを一応示したということになります。
0:06:21	次のページからがですね第二段階の前半における性能維持施設として、どう考えていくかというところでございますけれども、先ほどご説明した通りですねまずは、
0:06:32	ブランド状態が何が変わるのかというのを送りしたいというふうに考えて、
0:06:37	そして、第一段階と第二段階のプラント状態の違いというのを示しております。
0:06:42	で、
0:06:44	一つ目の菱形のところにあるようにですね燃料体取出し作業が終了しておりますので、燃料池周りを中心にまず安全機能を維持するということ。
0:06:55	一方で遮へい体取り出しというのがありますので、燃料等いらっしゃる実績のある設備はそのまま利用するということ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:02	加えて、一次系ナトリウムは固化中というふうになっておりますけれどもこれは一時的に保管しているだけということですので、リカバリープランのための最重点という可能性を踏まえて、この部分については引き続き性能維持施設として維持すると。
0:07:16	あと、
0:07:17	加えて最後をタービン発電機設備の改善作業に着手するというのでこの部分については、その他の性能維持施設に影響を及ぼさないように適切に確認をすると、そういうのを書いております。その一番下のところはですね前回もご説明しておる通り、
0:07:32	設備が静止してもプラントの安全に寄与しないというふうを考えている以下の施設機能については自主的に管理する施設、
0:07:40	いうところで、排水処理機能を換気機能を担うものについてはそういうふうにしたいというふうを考えております。
0:07:46	次のページにつきましては、特にナトリウムの関係について整理したものが7ページございまして、ナトリウム関係のところにつきましては段階的にですねこういう範囲縮小していくものというふうを考えてございまして、現在、
0:08:01	原子炉容器、あとは炉外燃料貯蔵槽にだけ期待ナトリウムが入っていてその他にこう書かれた状態というふうな
0:08:10	この辺りにつきましては、今後は、原子量機E V S Tからのナトリウムの抜取り、搬出、残留名取の処理というところを踏まえて、
0:08:21	順次ですね性能維持をどうしていくかというところをマイルストーンに応じて決めていくということになりますけれども、
0:08:27	少しオレンジで描いてありますけれども、リカバリープランで使用する範囲というところについては、専務理事として残すと。
0:08:34	そんなふう考えております
0:08:37	8ページの方に行きまして、
0:08:39	8ページの方につきましても第一段階前半のプラント状態踏まえて安全確保の基本的な考え方ということで、原子力災害の防止対応、ブルーのところ燃料池周り中心に必要な機能を維持するということ。
0:08:54	グリーンの方の廃止措置の安全確保というところにつきましても、廃措置を安全確実かつできる限り速やかに推進できるように、具体的な設備を最適する選択するということ。
0:09:07	これ、これに基づいて安全機能というのを下のフローに基づいて再評価をしたということになっておって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:14	9 ページ目がですね原子力災害の防止対応に関する安全機能として何が 必要なのかというところで、
0:09:21	①番というところが第二段階で重要な全機能止める冷やす閉じ込めると いうところにつきましてはここに記載のものが引き続きする
0:09:33	必要な機能、右側の方に不要となるの、こういうものを整理したという ことでございます。
0:09:39	②番の大規模損壊等への対応に必要な機能というところにつきましては 引き続き、すべて維持するというふうに考えております
0:09:47	右下に※を打ってありますけれども、もともとですね、燃料を安全に取り 扱う機能というところにつきましては、遮へい体等の取り扱いに係る 機能というふうにします。
0:09:57	放射性ナトリウム話工程のクリティカルに影響する可能性がある重要な 機能として維持をしていくということで、次のページに出てきますけれ ども③番、もんじゅの特殊性、こういうところを考慮して維持する機能 というふうに位置付け、
0:10:12	10 ページの方ですけれども、③番のもんじゅの特殊性というところにつ きましては、考え方として、支払い等の取り扱い、あとはナトリウム関 係で引き続き維持する。
0:10:25	必要な機能というのを洗い出そうというふうにしております。
0:10:28	あと④番の安全確保上必要な機能というところにつきましては、ここが ですねまだ少し検討中のところありますけれども、
0:10:36	このどういうものがですね、安全確保上、必要なのかというところをで すねきちんと整理をして、引き続き維持する必要のある機能が何か、不 要となる機能は何かというところをですね、もう少し検討して、
0:10:50	こんなふうにまとめていきたいというふうに考えて、
0:10:54	11 ページ以降はですね、
0:10:57	第二段階の移行に伴って運用を停止したいというふうに考えている施設 でございましてまずはプロセスモニタリング設備でございます。こちら につきましては、
0:11:07	右の方に青丸で囲ってるところが性能維持施設の要求を引き続きしよう というふうに思っております、環境放出を監視のところ、
0:11:19	性能として維持します。それ以外の屋内の管理に係るフォレストモ ニタリング設備につきましては、制度を維持が不要かなというふうに考 えておまして、運用を提示したいというふうに考えて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:32	12 ページのエリアモニタリング設備についても、
0:11:35	これまでご説明しておりますので、そこから変わりありませんでしたので、説明は割愛させていただきます。
0:11:42	13 ページからは、前回の時にご説明しましたけれどもこのプラント運用の合理化と、こういうところについても積極的に取り組んで参りたいというふうに考えておりました、
0:11:53	作業所のリスクが低減したことを踏まえましてナトリウムの保有範囲を可能な限り縮小し、精製運用と提供します。まずは、このS s L 運用というところにつきまして、どのような効果が期待できるのかというのを評価をいたしました。
0:12:09	それが①番ある 2 番というふうにして書いてある通り、
0:12:12	ナトリウム漏えいが発生する可能性がある範囲についてはプラント安全の関係でこのぐらい縮小できるだろう。
0:12:20	点検範囲物量というところについても、年間の点検コスト、約 17% ぐらい削減できるだろうと。
0:12:27	③番としてその結果として運転保守費の負担の低減ができるだろうとそのように整理しております。
0:12:35	具体的に 14 ページの方が S s - N の運用することでどのような状態になるのかというのをブランド状態としてお示ししているものということでございます。
0:12:46	左側の方を名取植木を N N S に変更することによって北井名取の補助
0:12:52	必要ないかの機能を、今まで維持しておりましたけれども、一番下に、⑥番というところで斜線しておいて、この部分につきましては 2 段階の移行に伴って、機能維持不要というふうに整理しております。
0:13:05	右側の方のドレンってところについては、集計等からナトリウムドレンですけれども、残量な通りのリスク低減の以下の規定も維持しておりました。1 から 6 番までありますけれども、
0:13:16	そのうち、斜線しているところにつきましては、リカバリープラン関係の設備になりますので、この部分については過剰な設備の性能というのを停止して、
0:13:26	リカバリープラン発動時に使用するものというふうに整理しております。
0:13:31	あとは 15 ページの方はですねその他の運用の合理化というところで性能維持施設であることは変わりませんけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:40	タイトルにある通りですね、作業等による立ち入りを除く換気装置の停止の運用を図るところとか、16ページの方でいけば当期飯野空調用冷凍機の運用方法の合理化を図ること。
0:13:54	17ページの方に行きますけれども、一次アルゴンガス系の循環停止の運用を図ること。このようなですね
0:14:03	性能維持施設でありますけれどもさらにプラントの運用の合理化を図ることで、維持の負担を軽減していくということも積極的に取り組んで参りたいというふうに考えてる次第でございます
0:14:16	18ページからはですね第二段階の後半以降における対応方針ということになります。こちらについては、
0:14:23	19ページですけれども、同じように、第二段階後半以降の安全機能要求の変化というものをですね、しっかり反映していくという必要があるかなと思っております、
0:14:33	まずは、現時点でできるものにつきましてはすべてやり直すということになります。
0:14:39	ただ、ちょっと括弧書きで記載しておりますけれども、廃止措置の各段階における工事の内容の検討結果というのが、これからまた出て参りますので、そういうのが出てくると順次見直しを図っていくというふうにしたいかなというふうに思っております、
0:14:53	今後の主なマイルストーンといたしましては(1)番の原子力災害の防止対応に関係するものでいけば、
0:15:00	1年後にあります、使用済み燃料の強制冷却の不要と、こういうものが出てくるというふうに思っておりますし、燃料の話の終了を管理区域の解除をそれぞれに応じてですね、右側の方に、
0:15:12	期待される効果といたしまして、燃料域の冷却に係る設備の最適化が図れると。
0:15:18	燃料保管に関する機能の維持不要になるとか、放射線管理に関する機能の段階で縮小が可能になるとか、
0:15:25	そういうところを期待できるかなというふうに思っております。
0:15:29	加えて両括弧2番の廃止措置の安全確保というところにつきましては、遮へい体等の取出し作業の完遂、09名というのは、の終了、この0本を踏まえて遮へい体等取扱に係る設
0:15:43	終了したり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:44	ナトリウム漏えい防止等々に関する段階、縮小を図っていくということ を考えたいというふうに思っております、まずは現時点でできるもの につきましては、今回すべて出してすべての機能に対してですね、
0:15:57	時間を設定しておりますけれども、
0:16:00	今後、廃止措置の工事内容の検討経過を踏まえて順次見直しをしていき たいというふうにいきたいというふうに思って、
0:16:08	加えて、先ほどご説明した通りですね、設備の状況に応じた最適な設備 運用計画の策定と、
0:16:15	こういうのが必要かなというふうに思っております、効果が大きいと 考えられるものから順次検討して、設備更新計画、
0:16:23	設備の改造を代替設備の移行計画として取りまとめて、必要に応じて適 宜範囲措置計画に反映して認可を受けたいと。
0:16:31	いうふうに考えております。その際に、検討すべき視点といたしまして は設備を維持する上での課題があります。
0:16:38	それは設備の経年劣化、交換部品の確保の可否、等を考慮していくとい うことを廃止措置作業との関係というところで配送したような中でスペ ース、
0:16:49	工程とリアリティー等を踏まえてですね、見直しをしていく。
0:16:54	20 ページの方にですね一旦、今まで、現時点でできる範囲で廃止措置の 進捗に伴ってプラント安全機能要求がどう変化するのかと。
0:17:04	いうところについて整理をさせていただき、
0:17:07	21 ページのところについてはそれをもう少し詳しく説明するというこ とで、当然私しております。このプラントの
0:17:18	第二段階のロードマップ、このロードマップに対して、どこにM i l l s t o n eもあるのかというのを示したい。
0:17:25	22 ページの方は、まだちょっと検討例というふうになっておりますけれ ども先ほど言った、燃料池の冷却に係る設備の最適化というところで、 電源関係についてですね、幾つかの電源を停止をし、
0:17:39	さらに、ちょっとわかりにくいですが下にも青字でタイラインを追 加というふうに書いておりますけれどもこのような改造することです ね、このビル、あと緑のところ、停止という2ヶ所ありますけれども、 このような
0:17:53	合理化、ダウンサイジングというのを図っていききたいというふうに考え ており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:58	ダウンサイジングを図っていこうと思ってるものにつきましては、まだこれ以外にもいくつかありますので、その辺りをもう少し追加して、ご説明できるようにしたいというふうに考えております。
0:18:08	ここまでが、全体の流れとして少なくともご説明したいというふうに考えているところで、
0:18:15	23 ページのところにつきましてはこれまでのですね、メディアの中で、前回の監視主務会合の中で厳しいご指摘を受けまして
0:18:26	全面的に E S A の一節の見直しをすると。
0:18:29	再評価するというふうに言っておりますけれどもこの台数削減可能とした施設に対しての再評価についてご説明ができてませんでしたので、本日は一応方向ウエノも、
0:18:41	審査資料の中で必要なのかなど、こういうところを考えており、このようなものを持ってきたということ。
0:18:49	24 ページの方にありますけれども、前回の監視チーム会合の中で、機構の方から、木野清の規定の改定台数を削減したい。こうした設備につきまして、第二段階前半のプラント状態を踏まえて、
0:19:03	まずは予備機として機能維持を行う必要があるかというところと故障時等において設備が自動的に起動するか、
0:19:12	ところについて識別をし、
0:19:14	結論といたしましては典型俣びとしてはすべてございますし、自動起動機能を持ってるものもございますので、
0:19:22	それらにつきまして、D G 台数の見直しということで見直し補正、そのような話をですね審査資料の中に入れさせていただくと、こういうことを考えている次第でございます。
0:19:34	それぞれに対して、民法欄で今まで使った資料しかまだ入れられてませんけれども、補足が必要と、補足説明が必要ということであれば、その辺りを入れてご説明するというにしたいかなというふうに考えております
0:19:48	今後今作成すでに着手しておりますけれども、機構の方で考えております。そういった施設の見直しについての審査資料の全体の方向性は以上。
0:20:00	麻生。
0:20:01	今ご指摘いただければというふうに思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:06	西尾規制庁のカトウでというご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、コメント等ありましたらお願いします。
0:20:30	じゃあ 20 水。
0:20:34	お酒をどうぞ。
0:20:36	すいません、上野ですけど。
0:20:40	最後にその説明いただいた 24 ページのところの、
0:20:46	再評価について検討中とあるんですが、ここについては、さっき冒頭にあった 2 週間ぐらい検討が必要だっていう、
0:20:55	こと。
0:20:56	という説明ですかね。
0:20:59	そうですね。この 2 週間の中で全部やりたいというふうに思って、
0:21:06	2 週間後にお持ちするのは、今日この方向性で大体よろしければ、
0:21:12	その構成に合わせて、全面的に見直した。
0:21:16	した資料をお持ちしたいというふうに思って、
0:21:21	それで今日 24 ページの資料っていうのはまだ検討中の資料だということで、
0:21:27	あまり中身について、
0:21:30	コメン等をしてもしようがないのかなと思うんですが、
0:21:34	ちょっと気になるのはその 1 台数の見直しの欄のところ、
0:21:40	見直し確保せいで書いてあるんですが、
0:21:43	そこはもう元に戻すということの方向性で検討はしてるということですか。
0:21:53	そうですね。一旦、このような説明を前回はしていただいたとっておりますので、まずはこの神尾を、
0:22:04	こういう
0:22:05	で、この見直しの補正というところがこの基数に本当になるのかっていうところについては、もう少し検討をすることで変わる可能性がありますけれども、
0:22:16	大きく削減できるというのはなかなかもしかしたら難しいんじゃないかなというふうに、
0:22:27	今後検討中だということなんですが、
0:22:32	削減する方向で検討してるっていうことで理解していいんですよね。
0:22:38	このように考えようとしておりますけれども、なかなか結論としては難しいかもしれないなというふうに思ってたうちですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:49	程度はなくて、今回やろうとしていることは、プラント状態の変化を踏まえて、必要な性能維持施設は何かということ荒井檀を直そうと。
0:23:02	荒井直そうとされていることです。
0:23:06	その結果が、削減になるのか、前と同じなのか、それは検討結果をご示しすることになると思っています。
0:23:23	藤。
0:23:26	終わったわってのは削減できるものは削減してくださいねっていうことをこちらとしては言ってるつもりなので、そこは理解していただいているということでよろしいですか。
0:23:37	はい。
0:23:41	はいよろしくお願いします。
0:23:53	いわず、言わずもがなではございますが、
0:23:58	前回の面談でもありましたように、性能維持施設というのは、01、白黒であって、前回のような、
0:24:11	自主管理で、2、落としておきながら、性能維持施設として、必要に応じてするなどという運用は、
0:24:22	認められないと理解して、それは捨てました。
0:24:26	ですから、必要と判断すれば全部し、
0:24:29	性能維持施設に入れようと思って今
0:24:33	当然その裏返しで、もういらないんだと、使わないんだと、廃止できるんだと判断すれば、受けています。
0:24:45	なので、そういう意味で、
0:24:50	8ページ以降にご説明した通りですね。
0:24:53	第二段階の前半のプラント状態で、
0:24:56	どんな安全機能を、を維持するべきなのかというところの整理から、始めているという意味はそういう意味です。
0:25:06	施設の件については、この機能を担っている施設が何かと、こういう整理は、
0:25:13	第一段階の時からもされてますので、この機能の整備がされれば、
0:25:17	自動的にですね、どの施設が今後維持されることになるのかというところについては、決まってくるかなというふうに思っております。
0:25:26	ただ、
0:25:26	できるだけ設備の維持負担を低減して、廃止措置を進めるべきだということについても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:37	そのような視点も重要だということではよく理解しておりますので、
0:25:41	この検討に加えて、運用の合理化と、こういうのも、図れないかと。
0:25:46	いうことを考えてそこまでご説明したいというふうに考えているということ、
0:26:24	いただき、
0:26:25	当間
0:26:28	ちょっとまだ、
0:26:44	これ。
0:26:47	例えば今の段階で、もうライン、ライン段階の後半までっていうのは、
0:26:59	今、安全機能で、
0:27:01	2点で、第3段階終了まで視野に入れた、
0:27:06	安全機能の整理をやろうとしています。
0:27:10	なので、その結果として、この部分については、どの機能が他の段階で、要らなくなるのかというのは出てくるかなというふうに思う。
0:27:19	ただこの機能に、
0:27:21	この設備に着目して特化してちょっと検討してるわけではないので、これについてどうなるのかということについては、全体としてはそういうのをやっているの、それぞれについていつ頃中平なくなるのかとかかっていうのは、
0:27:32	結果として出てくるかなあとは思いますがけれども、こいつはこうなるってところはまだ検討中。
0:27:40	わかりました。カトウですわかりました。ちゅそれ、それっていうのは、
0:27:45	一週、そうですか。はい。はい。検討しているという、その検討の中に入ったそうです。はい。
0:27:52	それともう土肥台数は、一応、今回を含んだけれども、いつの時点で、
0:27:59	何とか台数、ここ。
0:28:02	そういったところも含めて検討しているので、
0:28:06	廣瀬西郷であるといった説明もあるっていう。
0:28:13	そう。
0:28:14	なので、
0:28:18	安全機能の、
0:28:21	いつ、維持する必要がなくなるのか。
0:28:25	という話と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:27	安全機能はあるけれども、
0:28:30	設備の改造とかをして、維持するべくタイプを減らす。
0:28:35	いう話と、二つあるというふうに思って。
0:28:39	その部分がですねちょっと議論がちょっとこうかみ合うように一応作ってきたのが 19 ページなんですけれども、
0:28:46	私の整理ではですね、19 ページの上の方の安全機能要求の変化、この部分につきましては、
0:28:54	あと 2 週間で作ろうと思っているものの中に、とりあえずは一旦全部入れます。
0:29:00	で、運用の合理化の話他にもやりましたけれども、それはそれで機能要求はあるけれども、
0:29:08	設備の更新をすとか、設備の改造すとか、そういうのをすることで、台数を削減していくと。
0:29:17	こういうのは、あるかな、こういうふうに思っております、
0:29:21	例えば、
0:29:22	今回の話でいけばちょっと今日の資料が間に合わなかったので、わかりにくいところありますけれども、
0:29:29	もともとこの 24 ページの中で、原子炉補機冷却水ポンプ、海水ポンプ、
0:29:36	についてここに資料入ってますけれども、
0:29:40	この辺りについてはですね、その設備の改造をっていうのをしたいと、こういうふうに考えておまして、その改造することで、今書いてる、
0:29:53	ポンプとかの台数については、
0:29:56	こういうふうになってるかなという、
0:29:59	その辺はちょっと今日は入ってませんけれども、
0:30:02	来週、私またちょっと面談をお願いしたいというふうに思っておりますその時には、こいつについてはこんな設備更新、改造を考えていると。
0:30:12	こういう話をご説明したいというふうに思う。
0:30:16	規制庁の加藤ですけれども
0:30:19	ちなみに先ほどの海水ホームとか系の話は全くやられてるんですね、もう。
0:30:30	それとは別に、単純に
0:30:32	システムを減らしますっていう検討ってのはないんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:41	もんじゅのウチハシです。ちょっと現場対応あってそちら伺いなくて申し訳なかったんですけども、20 ページ目ご覧いただきまして、
0:30:52	この上の方にですね各M i l l s t o n e っていうのを書いていて、運転終了であるとか、S F の強制冷却用であるとか、燃料搬出っていうのがあるかと思うんですけども、例えば、
0:31:05	第二段階中頃にありますS F - 今日清流テイキャク不要っていうのがなされた時には、
0:31:12	上の方の青色のところという東の井戸池をふやすっていうのは要らなくなります。青野になりますので、
0:31:23	こういったところに対しては減らせるっていう判断はついています。
0:31:27	そういうご回答でよろしいでしょうか。
0:31:31	規制庁加藤です。
0:31:34	最初、
0:31:37	手管と最低既往台数に開きますってふうになって、それが系統ができま すっていうことだった
0:31:45	と思う。
0:31:46	例えば環境ちいなんかで、運転中に求められていると。
0:31:53	上が少なくて1 台で十分賄えますので、まとまった場合でも、例えばモ バイルのもので対応できるので、
0:32:04	もう1 台は完全に廃止しますっていうようなシステムっていうのはな い、ない。
0:32:13	あれですね、安全機能は担っているけれども、設備の容量が大きいから 廃棄してしまうのができるんじゃないかってのがあるんじゃないかとい うことですね。
0:32:25	例えば26 ページとかに書いてあるような、吸気ファンとか空調ファン とか1 台をもう廃棄してしまうというのは、今後検討するのかと、そう いうご質問かなというふうに思っております、
0:32:38	現時点では、今のこの流れでご説明したイメージでいくとですね、
0:32:44	安全機能は担ってるということになりますので、性能維持施設では、
0:32:51	しかしながら、プラントの運用の合理化はできるかなというふうに思っ てるので、例えばこの%については停止した状態で運用すると。
0:33:00	いうのはあるかもしれないなというふうには思っています。それは、プラ ントの運用の合理化っていう観点の中でやっていこうかなと思ってい ますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:08	設備の改造なしに、このファンについて、ただ単に止めておくことで、性能維持施設から外す。
0:33:15	ていうのは、
0:33:16	前回ご指摘された考え方とは違うんじゃないかなというふうに考えておりますので、
0:33:23	プラントの運営の合理化としてはあるかなというふうに思いますけれども、
0:33:26	完全に、全く設備を改造するに投資してしまうというのではないかなというふうに思ってますんで、設備の改造という話になってきますので、そうであれば、
0:33:36	単純な簡単な改造はあるかもしれません。
0:33:39	ただその部分につきましては、改造するために、いろいろ設計していくこともありますので、効果が大きいのものが何か、こういうのをしっかり選んでですね、
0:33:48	今後、そういう設備の改造というのを、を検討していくということになります。
0:33:54	なので、ちょっと配車が悪くて申し訳ありませんけれども、これから検討していく中でですね、
0:33:59	そういう対象として上がりやすいなと思ってます。この今まで、22ページのところに出したような、
0:34:07	要は、検討対象に上がりやすいかなと思いますが、
0:34:10	一方で、この設備すべてがですね、維持の負担が大きいかということ、そうではないところもありますので、この中も含めて、維持負担が大きいというふうに考えるものから、
0:34:23	設備の更新、改造というのに着手していくと考えておって、
0:34:29	その中で大きいと、こういうふうに考えているのが、今ちょっと今日資料がなくて申しわけありませんけれども、この補機冷関係については設備の維持負担結構大きいというふうに思っておりますので、
0:34:40	この部分について、設備の改造というのをやっていきたい。
0:34:44	いうふうに考えてます。
0:34:46	加藤です。私の理解が合ってるかわからないんですけど、4ページ。
0:34:52	ああいうと、安全機能道って言った運用例って右の、
0:34:56	衛藤の近くがあって、
0:34:58	重要な安全機能も直接になる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:01	常盤福住です。これもいろんな形で私は緑色になったものは、多分、
0:35:12	31 ページ。
0:35:15	できるのかなっていう。
0:35:17	そうではなくて、その予備機も含めて、
0:35:20	1 株のものであって、
0:35:26	それを、例えば、いらっしゃるダウンサイジングするっていうのは、設備の改造だったり、そういったものが、
0:35:34	必ず必要になってくる。
0:35:40	そうですね必ず設備を開放するかっていうことではなくて、
0:35:45	この設備を停止して、もう一つの設備を運用することで、本来ないかという設計検討ということで、
0:35:53	その設計検討の結果として、やっぱりきちんと当該設備を隔離をしておかないと思う片方の機器に影響を及ぼすというような結論が出る可能性あるなというふうに思っております、
0:36:06	その場合は、その確保するという改造が必要だというふうになるかなと思います。
0:36:12	ここまでですけれども、そこまでの検討は、ちょっと今の段階で難しいので、
0:36:19	そうです。なので、その部分につきましては、趣旨が、何かっていうと、やっぱり廃止措置をできるだけ速やかに進めるために、設備維持負担を軽減すると。
0:36:31	いうところかなと思っておりますので、設備の維持負担の軽減に効果が大きいというふうに考えられるものからその検討をやっていこうかなというふうに思っています。
0:36:41	で、現時点で検討に着手しているものが、今日お示した電源の話と、を入れたか、関係ない。
0:36:50	少なくともこの二つについては、検討に着手して、A、
0:36:54	次の改造をやろうと思ってる。
0:36:56	いうスケジュールまで含めて、
0:36:58	次回お示し
0:37:02	規制庁。
0:37:04	お話はわかりました。はい。
0:37:09	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:12	なんか、多分、我々のイメージだと、突然の廃止措置みたいな形で、もう愛想Gの段階においても荒田校の段階段階で、
0:37:25	その上で
0:37:27	減らしていくっていうふうな考えで持っていたいただいてるのかなというふうに思ったので、
0:37:34	ちょっと検討がまだされてない。
0:37:36	ということを、
0:37:37	鳥飼で、
0:37:40	ちょっと検討が遅いのかなってというのは
0:37:45	はい。
0:37:46	私からは以上です。
0:38:02	これ、2、26 ページで、
0:38:06	上から言うと、
0:38:09	知事の分割、建設、
0:38:17	で、
0:38:18	2 系統あったっけ。
0:38:23	系統としては1 系統なんですけど、アルゴンガス系の圧縮機、計2 台あるかな。
0:38:29	それでいいけど、
0:38:30	何D、これ100% 予備が、
0:38:34	そうです、100%。
0:38:37	安定する場合、
0:38:44	これ、17 ページに書いてるから、
0:38:46	もう、
0:38:47	てしまう等ですね、止めてしまったらもう、
0:38:55	いらないから、
0:38:59	はい。
0:39:00	あと何か。
0:39:02	みずほ、
0:39:03	藤堂です。17 ページでお示ししてるんですけども、運用の合理化って会社隣にある遮へい体と取り出し作業時除く機関。
0:39:16	で、
0:39:16	1Rが増えて循環していて、循環している中に、学部マネージャーであるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:23	アップル窓口があるんですけど、
0:39:25	車どグラフの中で、
0:39:28	遮へい体取出し期間、
0:39:31	影響がないってことを確認してから、遮へい体取出し事務運用しようかなと考えてございますので、
0:39:41	これいやそう超えますよ。
0:39:45	経験値をべきは、
0:39:48	日々消えるんですか。
0:39:56	もう点検人ヨッキはいると思っております。一応その、
0:40:00	圧力制御をしておりますので、そのところの、遞増制御でできるっていうタイミングがありますので、そこだけは前提でしょうかなと。
0:40:11	こうやって見つめして聞いていくのかなと。
0:40:15	綺麗。
0:40:16	はい。なんで千葉矢内。
0:40:18	平賀。
0:40:20	大体容量が少ないから減らします。
0:40:24	平本古内のあれってこれ、
0:40:29	まだ要領。
0:40:30	的には問題ないと考えてるんですけども、全般的に言うと、また下げた通りではあるんですけど、
0:40:38	聞いているとね、本当に減らすつもりで検討してるんですか。ちょっと。
0:40:44	なんかね、広島木場って、
0:40:47	残して残したい、残す理由になってないから、
0:40:51	なるほど
0:40:52	基本的に公表する理由になってない。
0:40:56	基本的に私どもが機能要求があるものについて、台数の制限をして、1台でSMGAと確保し、それをバックアップするのが実管理設備っていう、適切でなかったというところもあるんですけど、
0:41:10	そういった考え方で運用していこうと思ってた部分もあるんです。
0:41:13	それに関して機能要求がないという説明は私のところでもしておりませんで、そういった検討まで進んでおりませんでしたので、機能要求があるものについては予備機含めて確保していきましょうと。
0:41:27	機能要求があると言ったって、
0:41:30	もう廃止に入って、原子力安全、原子力事故がないから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:35	でもこれってね、時間余裕がかなりあるわけです。
0:41:38	そうするとね、宮口持ってなくて回せばいいでしょ。
0:41:43	こっちは避けました。
0:41:44	そういう議論がちゃんとされているんだろうか。
0:41:48	というようなところまで、
0:41:50	がございました。
0:41:53	それからー。
0:41:55	本当に絡めてしまってるんですよ。
0:41:57	週冷却ケースは全部空気してるんですよ。
0:42:03	おっしゃる通りです。
0:42:05	それで、
0:42:06	窒素雰囲気収着係数なんてことそうです。
0:42:11	これはまたリカバリープランの話なんですけど系統にナトリウムを充填する可能性がある以上は、しなきゃいけない。はい。
0:42:27	リカバリープランがいらなくなっちゃって減らすだけじゃなくても、
0:42:30	もちろんおっしゃる通り、
0:42:32	リカバリープラン発動がなくなるタイミングが最大の問い合わせ完了になりますので、そのタイミングでは出してきた。
0:42:39	減る形になる。
0:42:45	非波及は、
0:42:47	会計も基本的に遮へい体の取出しで使用する設備ですので、機械廃棄物処理は必要になる。
0:42:54	なぜそういうふうになります
0:43:00	大井。
0:43:01	遮へい体取り出しで、結局、ガスを廃ガスを流しますので、
0:43:10	放射性ガスというかもともと一次系に接続しておりますので、減衰してるとはいえ、
0:43:21	N F Kはあれだよ。エントリー系で頑張るそうですよね。そうです。
0:43:28	0にしたってね。ええ。
0:43:30	もともと見たら全部残してあるから、
0:43:33	会社で送られた。
0:43:38	なんかね、
0:43:41	機能が維持されるから、台数は減らしません。
0:43:45	じゃない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:46	僕ら、
0:43:47	なるほど。
0:43:49	リスク分かってる機能じゃなくて性能でちゃんと考えろっていうお話で しょうか。すいません。僕そういう難しい要望についていけないんです けど。
0:43:57	燃料がなくなってね。はい。燃料はどうもないですよ。
0:44:01	放射能汚染うそないわけで、
0:44:06	そういう中でその大した放射性物が出ると思えばいいし、
0:44:13	そのためにずっともろもろ残すのか、
0:44:18	すごくなかった。
0:44:20	そうなると遮へい体取り出しで使う。
0:44:23	ガスの量は燃料体取出しとかで使うガスの量、ここ変わりませんので、 基本的にはその林一番多い、僕の理解では、
0:44:32	何かね。
0:44:33	昔の議論。
0:44:34	一時あるもの付けたと。
0:44:35	そうですね。いや、もう1年前処理場がパッと出るんですよ。
0:44:41	それでね後に決まってたよね。一緒だって。
0:44:46	なんかに広げ、起動時は加圧側に行くので、カウンセリングでしょう。 だからガスが出てくるでしょ、ガスを供給してくる有井です。
0:44:58	志賀は、決してない。だから衣笠が出てくる。
0:45:02	原子力角委員。
0:45:04	移動時はカバーガスが出てた。
0:45:06	川里高圧じゃ預かりかなというのは、
0:45:10	起動時は昇圧していくので炉圧はだから少数者から出てくるでしょ。は い、そのあとはです。
0:45:17	昔はそういう議論だった。最近変わってるんですよね。
0:45:21	よくね、原子炉カバーガスは復旧するということで、
0:45:24	不純物がね、中に入るんだけど、結局ね、原子力一つ出てくんでプッシ ュになりますっていう話をした。
0:45:32	だから結構そこまでばかりなんないかなと思って。
0:45:35	ネット系のやつなんでね、教えてるだろうってことで、
0:45:39	それでも機械系に流れるガスの量が30立米とか出るタイミングもあり ますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:45	通常のブローダウンガスぐらいだと 10 立米ぐらいで収まるの困るんで、
0:45:52	とにかくこの中、
0:45:54	そういう原子炉を起動しない。
0:45:57	F Mに定めてるぐらいで済んでいるのか。
0:46:01	藺田順子さんといかんとかって、すごくいろいろ
0:46:05	はい。
0:46:07	本気で本気で減らせるんですか。
0:46:10	動きで減らせるんですかね。みんな思って。
0:46:19	平木。
0:46:21	一次アルゴンガス系というとあれだよな。
0:46:24	おっきい
0:46:25	足かけ 2 月中ぐらいで、
0:46:27	なぜ 1 回情報化センター給食多分やっていかない。
0:46:32	そうですね。クリプトン規制の希ガスの減衰で使ってるもの。
0:46:38	もう、
0:46:39	燃料も少なかつたし、
0:46:41	おっしゃる通り、年齢別会社。それから、
0:46:46	なのでそういった前提の運用とかも今考えてるわけよ。
0:46:51	だから
0:46:52	要するに、今日ってことはあれだよな。ちゃんと受けて減らして、
0:46:58	要するに、
0:47:00	変にできない。
0:47:02	営農施設から外され、
0:47:04	高齢者の方以下ではない。堀川さんとやっています。
0:47:09	それは皆さんのためじゃないですかっていうぐらいです。
0:47:11	運用の合理化ではなくて、性能維持施設から廃棄すべきっていう、基本的にはね。そこはだからそんなに、ちゃんと数字を取ってるもんだ反対しないし、
0:47:23	今回の出発はもう少しあったんで、早く本見も言われなくていかない。
0:47:30	逆に廃止は進まないんじゃないかと心配してる。
0:47:34	はい。どのぐらいの効果がすでにあるかというのは一応評価してみて、
0:47:40	とりあえず第二段階の前半については、これで進められるというのは我々考えて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:47	これでは足りない。
0:47:50	千賀委員。
0:47:51	今日は一言言ってね、これが出てきたときに、やっぱり本気でやったんですねということありますよ。
0:48:00	今まだ通っていただいてるんですよね。はい。
0:48:03	それに対して終わります。私としては、
0:48:06	ねえ、まあ、ちょっともう認可スケジュールもふやしましたけれども、ずらしましたよ、もう年内なんか間に合わないですよ。
0:48:15	いらしましたけれども、いいという、
0:48:18	これはまだこれから議論だと思ってます。だから先ほど言ったように、審査資料がまだ立ち上がって、安心会合が前に通らないと、補正申請なんかできないので、
0:48:29	そうであれば、これはもうずれたと思ってる。はい。なので、外れたと思ってるんですけれども。
0:48:35	そこに対して、あと何がやらなきゃいけないのかというところがよくわからなくて、
0:48:40	あれ、
0:48:41	あれじゃない
0:48:43	あん時で海軍で話したのか。
0:48:51	なんか 20 ページこれ、
0:48:53	よくわかんないんじゃない。
0:48:58	燃料長の早瀬です。これは普通ですと、
0:49:04	これは燃料系、
0:49:06	料理放射性
0:49:09	遮へい体の取り扱い。
0:49:13	極端なことで原子力事故起こんなきやいいやっていう人もいるけれど、はい、そうでも大体取り扱ってるときに、はい。
0:49:21	何かの国でも困るし。そうですね。ちゃんとリームを出してもらって、またね。
0:49:27	そこはやっぱりちゃんと見なきゃいけないと。
0:49:31	で、
0:49:32	そんなところはある
0:49:34	思うんですけどそうですね、かなり時間余裕がある。
0:49:38	どこまで活用しなかったかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:40	それで、
0:49:42	今言ったみたいに、結局
0:49:45	今のプラント状態が、水蒸気を全部、
0:49:49	どこの何かっていうと、
0:49:51	なるべく地域、地形になって、
0:49:55	その時に一次系はみんな固めていく。
0:49:59	そうしたときに、何がある。
0:50:03	当面の全部かけた分、
0:50:09	現実的には考えられないですね。
0:50:13	地上の分割系もそう止めるって検討がいい。
0:50:17	はい。すいません。そうですね。
0:50:21	次のページ、
0:50:23	まだ本児の状況がね、ピンと来る人と話だけ。
0:50:27	そういうわかりにくかったのがあるかなと思うんです。だからねそのあたりちょっとでしょうね。でもこれ、小針で取ってるんだとか、そういう話は、わかりました。
0:50:41	あと次、
0:50:42	時間余裕の話を、使えると思うんですけど。
0:50:47	時間領域をちゃんと考えたら、予備機、
0:50:50	どこまでいるんですかって話やっぱり疑問としてある。
0:50:59	やっぱりくれて、
0:51:01	配ればそんな、
0:51:03	すごく苦労します。
0:51:07	壊れて直すというよりかは、もう1台だけの実績で持っていれば、それがHuberアップできるという、価格格的というか、予備って、
0:51:16	2.5に変わるという、レートは、
0:51:20	こういう特殊って言うけど、特殊なっていうところ、どうぞ。
0:51:24	ていうのは限られて、
0:51:26	40を構成してるね、室ってほとんど汎用品ですよ。
0:51:31	今は予備もですね、本当はケース1
0:51:35	でそういう反芻品で、型式も含めて、あれか。
0:51:39	星野野村ならない。
0:51:43	そういうものを出てくるんじゃないかなと。よろしいですか。
0:51:46	そうです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:49	少しはそういう本当に苦労するんだからそんな話。
0:51:53	なるほど。もらってる。わかりました。僕らは変えてもいいだろうって書いてるので、
0:52:00	直せばいいのに、なんで、まさにちょっとずつ変わってくれば、
0:52:06	想像しますと何か具体的にご説明した方がよろしいところには、
0:52:12	いや、あんまり細かい話をしても、そうですね皆さん、厳しいですから、困るから、うん。
0:52:19	今の状態が何で、何でちょっと1回ちょっと何で取っておかなきゃいけないかって話でした。
0:52:27	はい。
0:52:31	まずは機能が必要かどうかの整理は、
0:52:35	今、これからやるんですよね。それは今もやってるところなのでなぜこの機能が必要かというところで、
0:52:42	では一応ご説明したいと。
0:52:46	その機能維持要求がある設備については、基本的には考え方としては専務理事ですとしておくべきだと。
0:52:55	性能維持施設、
0:52:58	ただ、廃措置を前に進めるために、設備の維持負担を下げなきゃいけないっていうのは、
0:53:05	十分よく理解しているので、
0:53:07	その段階で今できるものとして、運用の合理化を図ることで、さらに前に進められるようにします。
0:53:17	それは、
0:53:18	その上で、第二段階の、
0:53:22	中に入ってからの検討になりますけれども、設備の改造等を、効果が大きいものからやっていく。
0:53:30	そうすることで、先ほどからおっしゃる通り、止めれる部分とかも出てくるかもしれない。
0:53:36	ただ、
0:53:37	ここに挙げてるものについては、
0:53:41	先ほどからも言ってますけど維持負担が大きいものと、そうではない。
0:53:46	維持負担が大きいものについては、置いといた方が我々にとっては、良いと思ってるので、そこは何か維持しておきたいと。
0:53:56	駄目、そんなに大きくないもん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:58	いいです。
0:54:00	衛藤。それはね、よくわかんない。
0:54:04	ここは何。
0:54:06	負担の
0:54:10	軸と小さい。
0:54:12	ないだとか瀬川とか、
0:54:18	池戸の方から、
0:54:20	さっき言ったようにこのおきれ関係のやつについては、かなりいいリフター、結構ありますので、ここの部分っていう質問は、市負担が小さくて、
0:54:32	小さいものは残した方がいいと言ったんだけど、例えばどんなことあるんですか。
0:54:39	これの中でどう取るかということですか。うん。
0:54:43	層厚は、すみませんちょっとまだ私は系統計画聞いてないので言えないんですけど、もし、ウチハシの方なんかしゃべることが、
0:55:03	いいじゃん。
0:55:06	あ、わかりましたまではちょっとそこは。
0:55:09	今後議論できるように、閉じ負担が大きいと思ってるものと小さいと思ってるのっぽみたいなやつは、
0:55:16	この20ページのリスト中については、
0:55:20	少し補強した方がよろしい。
0:55:23	いや、今、
0:55:26	今後、今後速やかにくるところってちょっと僕言ってるだけなので、はい。今長さんの方で、2週間ました。はい。
0:55:34	週間の検討までやられたそうです。そうですね。ぜひそうさせていただきたい。はい。その中に入れる必要があるかという質問しましたそれは、お任せします。
0:55:45	お任せします。そうですね。それがいいけど、というか逆に僕らやっぱりちゃんとした検討をもらって、すごい疑問があったという立場。
0:55:56	その中途半端に検討する中でどうする。
0:56:00	よろしくないなので、これ以上ない。
0:56:04	熱交換器もね、綺麗だ、これもわからない。
0:56:08	本気で良くて聞こえ全然いらないだろうって、何でこれを残すのかってのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:15	綺麗ですか。
0:56:17	だから、考え方はすべて先ほど申した通りであって、予備として使えるっていう考え方だったので、であれば、県施設として管理すべきだろうという考え方で、必要だから準備して使えるか。
0:56:29	そうですね。本当にいるかじゃなくて、
0:56:32	梅木として何か置いてたら、そうだから持ってくっていうそういう、
0:56:36	なるほど、そう聞こえていたらあれなんですけど、機能要求があるものについて、機能を確保する上で、予備機があれば、スムーズに移行できます。
0:56:46	いう考え方
0:56:52	施工関係ですね、大きいチャコール。
0:56:55	基本的には、すぐ壊れるもの、
0:56:59	要するに、
0:57:01	これは本当だと。
0:57:07	相場観でしょう。
0:57:09	交換機を超えるか
0:57:17	だから、
0:57:19	それ以降、
0:57:25	遮へい体等の取り出し作業とかで、遮へい体の処理作業とかしてる時% R C W S C系の負荷として、
0:57:34	液体廃棄物処理設定上は入り廃液蒸発濃縮冷却で、R C W C K買ってるんですけど、そちらの方が、
0:57:43	昨年度、少なくとも50%みたいになってというのは、
0:57:46	その上で予備を確保するっていう観点で、
0:57:49	一応、今現在あるものを、予備機として確保、
0:57:53	それは作業のスケジュールが遅れる可能性もありますし、それはこうでした。
0:58:01	今の話は、
0:58:03	熱交換器の容量の考え方が足りなかったというか、
0:58:09	いや、そんなことは全く申し上げ、中では全部理解できなくて、R I S交換機は、
0:58:17	刀禰。
0:58:18	私の理解でもP T C系。
0:58:20	あとで、C Kか何か、T B Kは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:27	D C系はそうでないと、地域ケアを容量のこれくらい減らせるので、
0:58:36	そう、生きられます。
0:58:38	はい。
0:58:39	八尋白戸。
0:58:48	と言ったところの機能性能で言うと、機能をだから冷却できること。
0:58:54	性能については100立米流せることっていう、例えば今言ってますけど、100立米流す必要があれば100立米流す。
0:59:02	けども、それ以上の過剰な性能を持ってるものについては削減するっていうふうに考えてたんです。もともと、
0:59:09	そういった説明をこれまでもしてきました。
0:59:11	ですけども、そういった機能を担保する上で、予備機として自主法案で扱っていきっていったものを性能維持施設に戻すってことに関して、どういった議論があるのかなということを知りたいんです。
0:59:25	はい。今回、
0:59:27	悪くて申し訳ない。
0:59:30	こちらの理由ですね。はい。いろいろCKはもう負荷が減りました。はい。北。はい。だから一計十分です。はい。ついては、はい。ジャッキでいいんじゃない。
0:59:40	それで、
0:59:41	それに対して、予備についても実習保安自主自主管理設備として扱いますという説明をしていました。はい。その中で実習管理設備としてじゃなく、使用するものについては性能維持施設というところがあったので前の維持施設に戻します。
0:59:58	自主保安としてもいけない、性能維持施設として戻すのもいけないっていうなどどういう理由で、それはいけない理由はわからない。
1:00:09	予備としてもともと確保しようとしていたっていう趣旨で、なぜ良いのかわからない。
1:00:17	いや、逆に予備として確保しちゃいけない理由は、いや、自分とした理由がわからないって。
1:00:23	いやそれは機能を担保したいからね。
1:00:25	なぜ機能を担保するっていうレベルがいるんですか。
1:00:30	うん。
1:00:31	壊れた場合、交流上の問題ですか。
1:00:35	イコールってのは、よそ大変なんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:40	物が壊れないという前提に立てばよろしいのでしょうか。
1:00:44	すいません。そういうカトウの開発は僕は来申し訳なくて、はい。予備がなぜ要るんですか。
1:00:51	東京。
1:00:53	なぜ夜がいい。
1:00:56	だから、そういう時に、例えばメンテナンス自信ありませんって言ったら、それでもいいですよ。
1:01:00	それ反対しない。
1:01:02	やっぱりね、どうしても見てますし、これちゃうんですよ。
1:01:06	言われたらしゃあないなっていう、
1:01:08	基本はそう。
1:01:10	そう。つまり考慮しない。
1:01:13	そうなってるそういう可能性があって、川井小0ではないんで、これまでもう僕らのゼロリスクやってないんで。いえ。
1:01:23	普通に運用して行って予備でもらっていて、
1:01:30	例えば、
1:01:31	1機が壊れ、
1:01:32	何か、
1:01:33	終わり。
1:01:35	には確実な云々するっていうのは、今までずっとやってきた。
1:01:39	それでは、どっかでないといけない。
1:01:42	それで、じゃあ逆に、
1:01:45	止まっても壊れてしまったときに、性能維持施設がないこと。
1:01:50	ね、機能してない。要する売上で使ってるんで、それは、
1:01:58	NE ず亡くなったとか、
1:02:00	負担に、
1:02:03	ドドーンどういう扱い
1:02:07	優位施設は認可事項ですよ今、今、だから、その廃止措置計画に違反してることになります。
1:02:14	NG 施設が壊れたら直す、違う、直しますけれども、
1:02:20	壊れた。
1:02:21	その部分って、
1:02:23	性能維持施設が機能してない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:26	私渡会はそういうこと言ってるわけねそんな状態はどう考えたらよろしい。
1:02:31	しかも性能は今いろんな事故、
1:02:35	ちょっと書くか
1:02:37	らしいわって申し訳ないですけど地域事業者と、3として、
1:02:42	配当ちい、安全の発注を進める上で必要になっていう前提か。
1:02:50	衛藤、今の話、ちょっと別途何か、多分、
1:02:54	印刷局等、何だっけ。
1:02:57	おかしい。
1:02:59	言うしようって話になる。
1:03:05	要するに、製造施設だけの状態で、
1:03:09	それ、何時間以内にします。
1:03:13	なんかそんなイメージで多分、
1:03:16	あの話と、
1:03:25	いや、何かその理論でいくと、
1:03:28	すべてが、
1:03:30	予備機が必要ってことになってしまうんです。
1:03:33	ですけど、じゃあそのときはだから、それはそれが開放されるのは、機能要求が集まってるというかと思う。
1:03:41	でもそれは話してるわけじゃ、普通それはいつかは決まって、普通の運転状態で、
1:03:47	設置許可で認可され、
1:03:50	それを考慮する設置これは、
1:03:55	豊福委員。
1:03:56	運転中は機能要求のLCO。
1:04:00	だから今回の事務所ですか。
1:04:02	それからその下、
1:04:04	保守管理上の9センターって決めたかった。
1:04:08	施設運用上の基準という言葉では大きく変わっているものはあるんですけど、これだけそう決めてるじゃない。
1:04:16	それについては保安規定側の話。
1:04:19	別にそうでないとき。はい。だから米谷直せばいいでしょ。時間ない時間決めて約束して、
1:04:27	それはそれで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:29	そういう
1:04:32	そういうふう。
1:04:34	それでよいというご飯。
1:04:37	ご判断っていうか僕らはそういうもんだと思っててそういう底が来ると 思ってるんですけど、それはセンサーに関係当時置きください。
1:04:46	これもちょっと言いますけどどうしたらいい。
1:04:48	僕らは、
1:04:49	だから、フルード。
1:04:51	なぜ、その例えばね、もういらなくなった容量いららないですか。
1:04:57	なぜ残さなきゃいけないかっていう理由が全くできないんです。
1:05:00	よく聞いてあれば、あれ聞く聞くんだけど、よくわかんない。
1:05:06	ルールを要求としてある以上、うん。
1:05:09	機能要求としてある以上、
1:05:13	性能維持施設は、
1:05:14	要求、
1:05:17	でして、
1:05:18	しなければいけない。
1:05:21	じゃ、介護でそういう説明してください。
1:05:25	壊れたときに、
1:05:27	は、
1:05:29	バックアップ。
1:05:30	伊賀。
1:05:32	あるので性能、壊れても、性能維持施設は行っています。
1:05:37	今後もそういう、
1:05:41	金庫が言いません。
1:05:43	教えて。
1:05:46	昨日病気を持った。
1:05:48	武石さんの発想もありだと思えますよ。麻生です。福田は、ここ2、
1:05:54	時間っていうファクターを入れたらどうですかっていうさ、別に
1:06:00	違和感がー。
1:06:01	減らしたい。
1:06:03	思ってるから、
1:06:05	だから僕らはそこに時間っていうファンクションを入れたらどうですか って言うてるだけです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:12	江藤さんから話は何回もいただきまして、その上で、五島さんがまた理解をしてないので、
1:06:21	また自主保安管理設備がどうだとか言ってるので、おかしな話で、
1:06:26	申し訳ないです。そういう理解だったので、直させていただきましたという話を、
1:06:32	いただいたから、
1:06:34	だから例えば、
1:06:37	事故対象設備があって、極論ですよ。
1:06:41	それで1日以内に復旧すれば、
1:06:45	また性能が戻るんですけど、それまでの間のその性能というのはこのぐらい落ちるんだけど、
1:06:54	それが復旧すれば、またすぐ戻るんですけど何かそういう説明でもいいんですよ。
1:07:01	だから時間で何日持てばいいっていう話を、
1:07:06	僕らは持ちかけてるわけですよ。
1:07:12	それが難しいっていう話であれば、
1:07:15	今は01の議論をしていながら、
1:07:18	徐々にやっていってもいいと思いますよ。
1:07:24	僕ら減らす分にはウェルカムなんです。
1:07:28	ウェルカムなんですけど、
1:07:31	基本的には制度維持施設かそうじゃないかしかないと思ってるので、その規則上ですね。はい。急に自主法案にしてた設備が、
1:07:42	急に性能維持施設に比べるなんていうのは有り得ないんですよ。
1:07:46	規則上、はい。それは実用炉規則上もありえないと思ってんですけど、実用炉の運用が難しいですよ。
1:07:54	なので、そこは多分、そこまでは多分五藤さんも理解をされた上で、時間的な話っていうのを多分、粒子が何となく匂わしてるわけですよ。
1:08:06	じゃあ時間を入れたらどうですかと。
1:08:10	エイズそれを、
1:08:13	今入れるっていうのは小なかなか難しいと。
1:08:16	いう話であれば、それはだからいずれ考えていくって話もあると思いますよ。
1:08:22	そういう意思表示をしていただければ結構です。今回、例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:26	はい。僕は自主的なファクターがあってもいいと思うし、代替機があつてそれに変えるっていう話でも結構だと思ってるんです。はい。そんな時に必要なのが、
1:08:36	何時間、何日。
1:08:39	必要ですかっていう話になってくると思います。
1:08:42	そういう子達が、
1:08:45	なかなか思ってるんですけど。
1:08:47	この間、
1:08:49	ジョウです。その部分については、同じ石堂を、船に対してされてるというのは確認しました。で、
1:08:59	その中で、
1:09:03	効果大きいものからやるべきだというふうに思っているの、そのものからやっいていこうと思います。で、効果大きいと思ってるのはまずはこれだと思うと、それはいつまでにやろうと思う、いうのをお示ししたいというふうに、
1:09:17	思っておりますけれども、
1:09:19	その中で当然時間的な評価も当然やろうと思ってますんで、まず、今日私としてはですね、議論したいなと思ったのは、前回ですね、この 24 ページに書いているようなものをですね、
1:09:32	誤った概念を導入して、提示したおかげで、この混乱を招くようと思っておって、
1:09:38	とはいえ、1 度もご説明しないのもよくないかなと思って今日は参考ということでお持ちしてるんですけれども、
1:09:47	この部分について、これからご説明していく中で、取り扱う必要があるのかどうかと。
1:09:54	そういうところを、できれば今日ですね、決めたいなというふうに思っ
1:10:00	て、思っていて先ほどからこの参考というふうに書いてるところについて、これを私がこれから 2 週間でまとめる審査資料の中に入れる必要があるのかどうかというふうに
1:10:11	質問を投げかけさせていただいてるんですけれども、この 24 ページ、24 ページの件を、
1:10:18	これから私がまとめようと思って審査資料の中に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:21	入れる必要があるのかどうかというところについて、間詰めさせていただきたいなと思って、
1:10:27	もう、
1:10:28	細野さん僕はこれ入れたもんですけどどうでしょう。
1:10:33	いいですよ入れても、
1:10:36	そもそも必須比率ではないんですか。
1:10:45	添田カラー版の時点で決まらないんじゃないのこれ。
1:10:50	決まらない。
1:10:51	逆に微増というぐらい。
1:10:54	違う印象が出てる。
1:10:56	いや、難しいんですよ。だってもともと設計して人誰もいないんだから、今、今のメンツの中で、
1:11:04	下手すりゃ有吉さんが一番知ってる。
1:11:08	だから、
1:11:13	水、こういう形で今後まとめていきたいという意思表示をするのであればそれでも結構だし、
1:11:23	変にマルつけて、
1:11:26	だんだん結局変わらないんじゃないかねえかよっていうふうに思わせるっていうのはあまり得策ではないような気もするので、私は、どちらでもいいかなっていう気がしてるだけです。
1:11:38	わかりました。はい、どうぞ。
1:11:42	いや、
1:11:44	だから、
1:11:45	別に
1:11:47	ダメージだけを考えて僕ダメージコントロールだけしかしてないので、どちらでもいいですっていう形だけ、正論とすれば出すべきだと思いますけど、はい。
1:11:58	今多分出せないんじゃないかなと思ってのんですよ。
1:12:02	真面目に考えると、
1:12:04	本当に真面目に考える人。
1:12:06	はい。有吉ですけどおそらく今日の話聞いてると、多分減らせない。
1:12:11	という答えが方向に予想されて、
1:12:14	それが出てくるとバーッと確かに議論があるから、副所長さんの意見に賛成します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:24	わかりました。
1:12:26	ただ、それぞれ取り組んでいくという宣言をするということで、よろしくをお願いしますちょっとぜひしていただいた方がいいと思います。
1:12:35	ちなみに、ちなみに全然関係ない話するんですけど、
1:12:40	冷却国ずって、
1:12:44	2、2回とかとか議論して、3回か3回とかと議論して、8月末、
1:12:50	燃料全部もう取れちゃったから、
1:12:54	まだそこまで着手できてないです。
1:12:56	それはだから防災の部分の方に少しちょっと議論を持ち込んでた方が、
1:13:02	いいと思いますよ。そうすると、
1:13:04	想定事故が減るしね。
1:13:08	それは、今、第2段階に移行するための、原子力防災計画の見直しを、 をやったところなので、
1:13:16	次にその辺の話をしていくことになるんじゃないかなというふうに思っ て、
1:13:21	我々のスケジュールとしてはですね、来年度の夏に、
1:13:28	実際の燃料池の温度変化のデータをとりようと思っております、
1:13:34	結果を踏まえて、廃止措置計画の変更申請に持っていきたいと。
1:13:39	いうふうに思っておりますけれども、
1:13:41	このタイミングでよく言ったタイミングで変更申請させていただきたい ものですね、いくつかございますので、その辺をまとめて、いつごろ の時期に変更申請するのかと。
1:13:53	いうところについて、また別途ご相談させていただきたいと思って、
1:13:58	多分、僕ら一規制はして欲しいのは、今の議論が大体ご理解していただ いたとして、
1:14:10	横事故時間軸にとってたねじP O Sの性能維持施設の数とした場合に、
1:14:17	どのタイミングで、どんな感じで減っていくのかっていうのを、
1:14:22	同じような資料が27ページから19ページにありまして、10ページで すか。
1:14:28	田仲でありますけれども、
1:14:31	20ページ、企業だけで表した20ページですね。
1:14:35	その後20ページですね、これを
1:14:40	単純に
1:14:42	数として見た場合に、鍵としてのイメージ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:46	を知りたいんですけど、例えば、第二段階のうた前半後半で分けちゃったから、前は終わるときにどのくらい減って、後半のときにどのくらい減って、
1:14:58	第3段階ではなだらかに減ってっていうんじゃない、そういうイメージを共有したいんですよね。
1:15:06	わかりました。
1:15:07	そのくらいは共有できるんじゃないかと思うんですけども、単純にちょっと値維持台数の基数とか今後書くのでその数字だけで、
1:15:17	やらしていただいて、本当はね多分重みが違うんですけどもそういう単純なよければできると思います。
1:15:24	そういうイメージを多分、規制側と、事業者さんの方で、ちょっと握ってという言い方変ですけども、
1:15:36	イメージを固めておいた方が、
1:15:38	今後の議論の進展でいいんだと思います。じゃあなぜ今減らないのかといったときに、こういう理由だから減らない。
1:15:46	だけどこのタイミングではこういう理由だから減る。
1:15:50	ていうような感じで吹き出しがついてるとの別ですよ。
1:15:54	わかりました。
1:15:55	はい。磯例は、ちょっと作っていただいてまた二、三週間後にでもちょっとお話を聞かせてもらえればなと思いますけど、わかりました。
1:16:09	私は以上です。
1:16:17	ではまた3週間後、
1:16:23	1週間、
1:16:29	次の面談の話に移ってよろしいですか。私のイメージとしては、かなり今回衛星の移設、評価の仕方を、もともと我々が考えたやつをちょっと直して、
1:16:44	今後の話まで含めて、例えば、まとめていきたいというふうに思っておりますので、全体の構成が大体これで本当にイメージが合ってるかというところですね。
1:16:56	途中途中で大変恐縮なんですけれども問い合わせができると、私としては、認可のスケジュールがきちんとコントロールできるのかなというふうに思っているんで、
1:17:07	できれば、来週の終盤ぐらいに、一同、またちょっとですね、その辺を議論させていただけるとありがたいなと思って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:20	城さん。
1:17:21	あるじゃない。
1:17:22	気持ちはわかりますけど、じゃあしない会合の前に僕も何もよくわかんないけど、
1:17:29	会合ではないかどうかどうかわかんないと思ってます。
1:17:36	だから、イメージのすり合わせはいいんですけど、その時に
1:17:42	意見はね、1局有として、はい。
1:17:46	いざ会合での時に交換場にする。はい。そこ否定されたらまた話がかわっちゃうってことはいえるので、はい。二階堂嘉陽でやりとりもあると思って、緊張感を持ってやるしかないかなっていう、はい。はい。
1:18:18	なので完全にすり合わせるっていうのはなかなか難しく、この前結構こじれましたんでね。なので、完全に自分ベースで、
1:18:29	総売り上げたって、
1:18:31	多分限界があるんだと思いますよ。だから、皆さんが歩道でいいかなと思う感じでいいと思いますよ。事業者の皆さんが、
1:18:41	こんな感じでいけば方向性ずれてねえだろうっていうところまでは、我々おつき合いますけど、あとは向こう、
1:18:49	この場でやるっちゃうのはいいと思いますよ。
1:18:53	わかりました。わかりました。そういう意味では、
1:18:58	今日聞いた話大体私の中では、資料の構成のイメージがある程度できましたので、
1:19:07	そういう意味では、途中途中ですり合わせするよりは、一定の評価ができたタイミングでやっぱり足いただいた方がいいと、そういうことなのかなというふうに思いましたので、ちょっとスケジュールについてはちょじゃちょっと、一度持ち帰って、
1:19:19	作業の進捗具合をちょっと確認をして、また改めて人でなく、
1:19:29	はい。規制庁加藤です。他、よろしいでしょうか。
1:19:35	私はありません。はい、ありがとうございました。じゃ、文科省さんから何かありますでしょうか。
1:19:45	はい横井です。今日はありがとうございます特別ございません。
1:19:49	はい。ありがとうございました。それでは本日の面談終了にしたいと思います。どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。